

SUZUKI HEALTH TOMORROW

Vol.402
R6.10



医療法人 浩生会スズキ病院

〒176-0006 東京都練馬区栄町7-1 TEL: 03-3557-2001

HP: <https://suzuki-hospi.or.jp/>



東京都指定 2次救急医療機関
(財)日本医療機能評価機構認定病院
人間ドック・健診施設機能評価 認定病院
日本外科学会専門医制度関連施設
機能強化型在宅支援療養病院



リハビリ便り

理学療法士 依田万波

長かった夏も終わり、ようやく秋がやってきました。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋・・・皆さんはどのように秋を過ごされますか？

きっと今年もあつという間に冬がやってきそうなので、動きやすいこの季節になにか楽しみを見出したい今日この頃です。



今回のリハビリ便りでは、「リハビリにおけるHOPEとNEED」についてお話ししたいと思います。

HOPE（希望）、NEED（必要性）という言葉はあまりなじみがないかもしれませんが、言葉だけでは違いもはっきりしないかもしれませんが、私たちにとってこれらを明確にすることがリハビリの目標設定において必要になります。

まずHOPE（希望）についてです。Demands（要望）と言うこともありますが、これは患者さんやご家族の主観的な希望・目標になります。リハビリを通して何ができるようになりたいか、どうなりたいかということです。

例えば、「痛み無く歩けるようになりたい」「仕事を再開したい」「家で生活したい」「旅行に行きたい」など、患者さんが思い描く生活像がみえます。これは患者さんがどのようなことで生活の質（QOL）の向上を感じるか、生き甲斐を感じるかということにもつながります。

次にNEED（必要性）ですが、これは私達医療者側から客観的に見た必要性のことです。

これは必ずしもHOPEと一致するとは限りません。例えば、肩の骨折をした患者さんから「自転車に乗りたい」というHOPEが聞かれたとして、いきなり「では、自転車の練習をしましょう！」とはなりません。まずは生活を成り立たせるために何が必要かを考え、「肩の可動域・筋力の改善」

「洗髪動作の自立」「更衣動作の自立」などがNEEDとして挙がってきます。そして、移動手段として本当に自転車が必要なのか？他にもっと安全で怪我を繰り返さない方法はないか？なども考慮して、ご本人の希望と現実的な目標をすり合わせていくことになります。



バランスや注意機能などが低下している方の場合、また転倒して骨折を繰り返す、そうしていくうちに自転車どころか歩くことも難しくなる可能性もあります。

その患者さんが長期的に見て元気で過ごせる時間が長くなるように・・・と考えると、HOPE をそのまま目標にすることが必ずしも最適解とは限らないわけです。



そうは言っても、私たち医療者の考えを一方向的に押し付けてHOPE を無視してしまうことは避けなくてはなりません。どの患者さんにも共通した目標は「よりよく過ごしていただくこと、自分らしく生活していただくこと」だからです。

HOPE をそのまま叶えることは難しくても、代替案を提案できる可能性はおおいにあります。それにはHOPE の真意を知ることが必要なので、たくさんお話を聞かせて頂くこともあるかもしれません。一見何気ない雑談の中にも、患者さんの理想の生活に近づくヒントが見つかることもあります。



今回はリハビリ目線でお話ししましたが、HOPE が重要なのはリハビリに限ったことではありません。医療を受けている皆さんには、スタッフがお話を伺う際、どんな生活がしたいのか(してほしいのか)、是非お話していただきたいなと思います。

診療放射線技師の歴史

診療放射線技師 飯塚友希

現代の医療では、正確な画像診断のための診療放射線技師による検査が欠かせません。その歴史は、1895年のX線の発見に始まります。今回は診療放射線技師の業務が確立され現在に至るまでどのような歴史をたどってきたのか、また診療放射線技師に期待される将来の役割についても簡単にご紹介したいと思います。

日本では、診療放射線技師は医師・歯科医師の指示を受けて、放射線を人体に対して照射する業務をまかされています。

1951年（昭和26年）、医療の質を保証し、医療技術者の資質と身分の安定を図ることをねらいとして、診療エックス線技師法が定められ、診療エックス線技師の国家資格が始まりました。その後、医師の補助者として診療用放射線全般を取り扱う医療技術者が強く望まれるようになりました。

1968年（昭和43年）診療エックス線技師法が一部改正されて新たに診療放射線技師法が制定され、「診療放射線技師」の資格が創設されました。

現在の診療放射線技師の業務はX線を用いた検査の他、MRI検査や超音波検査、放射性医薬品を用いた核医学検査など、検査の高度化が進んでいます。そのため、ほかの医療スタッフと協力して良質なチーム医療を提供することも求められています。

また日本では、世界と比べて人工あたりのCT普及率が突出しています。高度な医療を受けやすい反面、医療被ばくの増加が注目されています。病気の発見ができるといったメリットがあるため医療被ばくは線量の限度がありませんが、極端に多い被ばくはデメリットもあります。

そのため患者さん個々の被ばく管理を求められるようになり、各病院で医療放射線の安全管理を行う医療法の改正も2020年に施行されています。

今後も放射線機器の高度化に伴って診療放射線技師の業務がさらに拡大されていくとされています。またその専門性も増していきます。放射線のスペシャリストとして診療放射線技師は、それを使うだけでなく、適正に管理していく業務も期待されるようになるとも言われています。

以上、簡単ではありますが診療放射線技師の歴史についてご紹介させて頂きました。



室蘭の地球岬

広報委員

北海道室蘭市にある地球岬がとても綺麗で素敵な場所だったので紹介させていただきます。

地球岬は、絵鞆（えとも）半島の最南端に位置し、高さ 100m 前後の断崖絶壁が連なる美しい景勝地です。快晴の日には展望台から太平洋が一望できます。北海道の自然 100 選の第 1 位にも選ばれ、人気の観光スポットとして知られています。特に元日には初日の出を拝むために多くの人々で賑わいます。

地球岬という名前は、アイヌ語で「断崖」を意味する「チケブ」に由来します。これが「チキウ」となり、「地球岬」と呼ばれるようになりました。地球岬の象徴的な存在が、海拔 130 m にそびえる白亜八角形の「チキウ岬灯台」です。この灯台は灯高 131m で、その光は約 44 km も離れた場所まで届きます。1920 年に初めて点灯され、船舶の航行を助ける重要な役割を果たしています。通常は立ち入ることができませんが、「海の日」などの特別な日には一般公開されています。

高台にある灯台を見下ろす展望台からの眺めは壮観で、地球の丸さを感じることができる大パノラマが広がります。晴れた日には、遠くにある駒ヶ岳や下北半島まで眺めることができます。運が良ければ、春から秋にかけて回遊するイルカやクジラも見ることができるかもしれません。

周辺には散策路があり、季節の花々を楽しみながら森林浴ができます。また、地球岬は国内有数の渡り鳥の中継点であり、渡り鳥を狙ったハヤブサの営巣地としても知られています。



「カブとエビのそぼろ煮」

秋カブの季節です。春に出回るものよりも甘味が強い秋カブを温かくやさしい和風の味で食べられるレシピの紹介です。

《材料》（2人分）

- ・小カブ …4個
- ・しめじ …1/2パック
- ・むきエビ …150g
- ・がんもどき(大) …2個
- ・料理酒 …大さじ1.5
- ・醤油 …大さじ1
- ・顆粒だし …小さじ1.5
- ・水 …600mL
- ・塩 …少々
- ・水溶き片栗粉 …水と片栗粉を大さじ1ずつ混ぜる



(1人当たり約216kcal)

《手順》

1. カブをよく洗い、皮付きのまま縦半分に切ります。しめじは石づきを切り落としてほぐしておきます。エビに背ワタがある場合は取り除き、粗みじん切りにします。がんもどきはキッチンペーパー等で包み、表面の油を取ってから4等分に切ります。
2. 鍋に水・顆粒だし・醤油・料理酒・塩を入れて混ぜ、更にカブとがんもどきを入れて中火にかけます。煮立ったら火を弱めの中火にし、落としぶたをして時々返ししながら15分程度茹でます。
3. カブがやわらかくなったら2にエビを加え、再び煮立ったら水溶き片栗粉を回し入れ、全体を混ぜてとろみをつけたら完成です。

★ポイント★

- ・カブの葉は切り落として捨ててしまう人も多いようですが、栄養がとても豊富です。炒め物や和え物、汁物など広く使うことができるので是非食べてみて下さいね。



患者さんの権利

- 平等で、質が保護された最善の医療を差別なく、継続して受ける権利
- 医師や病院の選択の自由と、セカンドオピニオンを受ける権利
- 診断・治療に関する情報を得て、同意または拒否する自己決定権
 - ・意識喪失患者は、家族または法廷代理人の同意が必要（緊急時は例外）
 - ・法的無能力者も、家族または法廷代理人による本人の意思決定への参加
 - ・患者さんの意思に反する処置、治療は法の許容範囲内で例外的に実施
- 十分に説明を受ける権利と共に、知らされない権利
- 医療に関する秘密が保持され、個人情報保護される権利
- 予防・早期発見と医療を選択する権利と自己責任
- 尊厳を尊重し、苦痛のない人間的な終末期ケアを受ける権利
- 聖職者による霊的・倫理慰安などの宗教的支援を受ける権利



浩生会スズキ病院理念

私たちは、練馬区の中核病院として地域医療に貢献することの責務を自覚し、安全・良質な医療を行ないます。



浩生会スズキ病院の基本方針

1. 私たちは、患者さまのプライバシーを守り、意思と権利と安全を尊重した医療を実施します。
2. 私たちは、自己研鑽に努め、豊富な医療知識と技術に基づいた医療を提供します。
3. 私たちは、地域の人々や他の医療機関、福祉介護機関と共に医療・介護と福祉のネットワークを進め地域医療に貢献します。



診療科目・診療担当者表

2024年 10月 1日 改訂

		月	火	水	木	金	土
午前	内科	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)
	糖尿病内科	澗潟					
	消化器外科・外科	病院長	病院長	病院長	病院長	病院長	病院長
		平野			金森		
	循環器内科			鈴木(臣)☆	鈴木(小)☆	鈴木(臣)☆	
	呼吸器内科			加藤☆			加藤☆
	整形外科		坂本			内野	
訪問診療	田中	澗潟	町田	二木	下澤		
午後	内科	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)
	消化器外科・外科		平野				平野
	整形外科 (14:30~)		坂本				坂本
	循環器内科					佐藤 第4週	第2週休診 PM 2:00~
	泌尿器科	山崎					
	訪問診療	田中	鈴木[小]	町田	二木	下澤	

※ 診療日：月～土曜日 休診日：日祝祭日。(急患の方は、24時間受付しております。)

※ 診療受付時間：8：30～11：30、13：00～16：30 ※ ☆：予約制です。

